

日本共産党



出浦正夫議員の

9月議会・町政報告

9月定例議会が9月12日から14日の日程で開催されました。議会では一般質問、町長提出案件では、一般会計補正予算、条例の一部改正、前年度決算などが審議されました。人事案件では教育委員長、教育委員の同意案件が提案されました。

町長提出議案はすべての議案が可決、前年度決算は一般会計他すべて認定、人事案件については同意されました。

日本共産党の出浦正夫町議は、13日「一般会計問を行いました。概要を以下に町政の問題を報告します。」

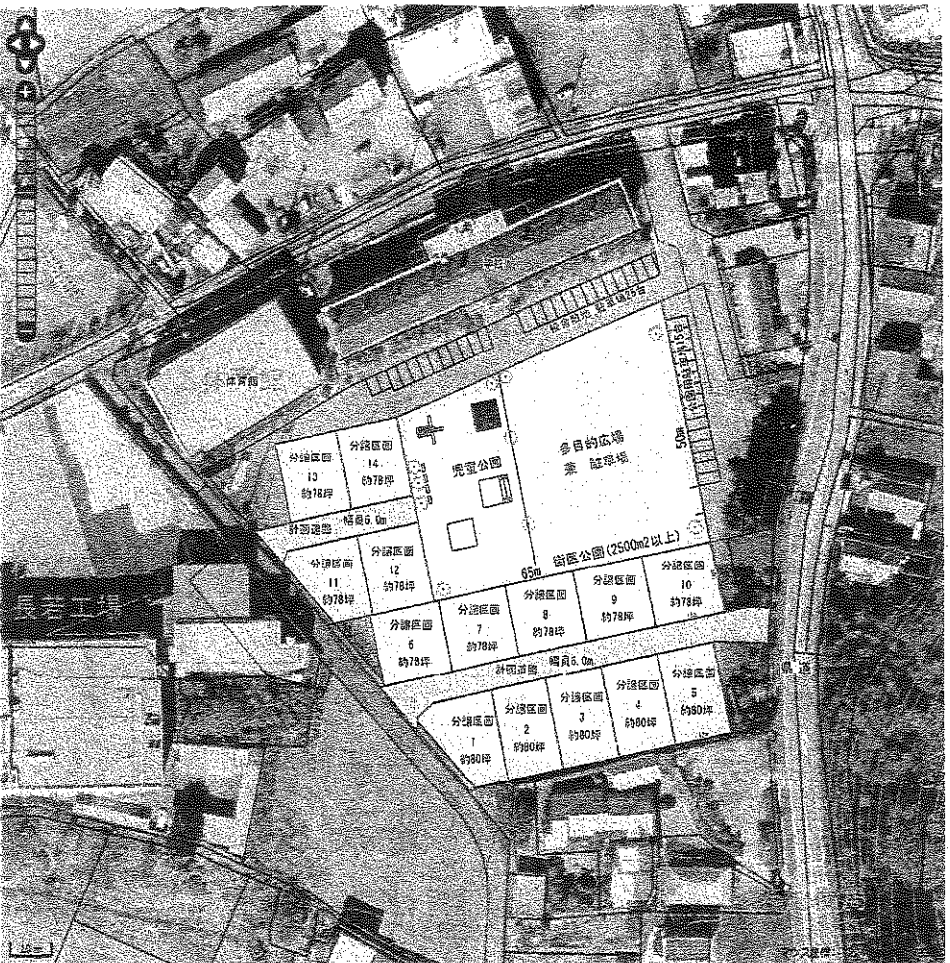
一般質問要約

1、旧長若中学校校庭を売却

するな！調査費、1030万

月の執行中止を求め

突然提案された旧長若中学校の校



開発面積約9,700m²
分譲区画14区画 14×3.5人=49人
居住想定者数 49人

庭を住宅用地として売却する計画について審議しました。

出浦議員は、経過を振り返り、議員がこの問題を知らなかったのは3月4日開催の令和5年度予算案説明会だったこと、6月中旬に長若地区住民有志が開催した集会では、校庭売却に賛成の意見はほとんどなかったこと、また、町が6月27日、公式に開催した旧長若中学校校庭売却に関する意見交換会では、売却賛成意見は皆無、怒りや抗議の声が多数であったことなどを挙げました。

その一方で、地域住民の賛同が得られない校庭売却計画は撤回、調査費1030万円の執行中止を町長に求めました。

反対意見は多数だが

町長は、6月27日の意見交換会では、反対意見がほとんどであったこと、その後のアンケートで、反対意見も3日の意見交換会では、前向き意見もあった、若年世帯、中学生以下の子育て世帯を対象にアンケートを実施、情報収集を行っていることと答弁。調査費については事業内容の整理が引き続き執行していきたいとしました。

10月3日開催

議会全員協議会で旧長若中学校校庭分譲計画を提示、

校庭、14区画を分譲予定

10月3日開催の議会全員協議会で旧長若中学校校庭分譲計画が提示されました。

計画によると第一期工事で校庭南側、ミニスポーツ場などのある部分に80坪の宅地5区画、78坪の宅地5区画、計10区画を造成。

第二期工事として体育館・校舎南側に78坪の宅地4区画を造成。残りの校庭に児童公園、多目的広場・駐車場を配置するとしています。

町の想定では、宅地造成・分譲が行われれば49人が居住することになります。

学校・校庭は地域の宝、先祖からの預かりもの、売却など許されない

校庭を宅地分譲するなんて全国的にも聞いたことがありません。安価で分譲すれば買う人もいるでしょうが失うものが多すぎます。

一町長の思い付きで、校庭を売り払うなんて許されません。

おがの

民報

No. 50



日本共産党小鷹野町委員会
9月定例議会報告
2023年 10月 22日(日)
連絡先 (79) 0036

2、国民健康保険について

令和9年 国保税の準統一の影響について質問

埼玉県は令和9年に国保税の準統一を行うとしています。その影響について質問しました。準統一とは、医療水準の差を除いて負担を県全体で統一しようとする計画です。

小鹿野町は県下でも国保税の負担は低い位置にありますが、準統一による負担増が心配されます。

担当課では、準統一の結果、現在の賦課方式(所得割、資産割、均等割)、平等割の4方式から所得割、均等割の2方式になるとしています。小鹿野町では所得割の負担率が上がる予想とのこと。また、町単独で実施している第三子以降の均等割り免除などの措置はできなくなるとしています。今でも高いといわれる国保税、これ以上の負担は耐えられません。

4、マイナンバーカード終点検について、町が係わる業務は何かについて質問

マイナンバーカード終点検について、町が係わる業務は何かについて質問

全国的にマイナンバーカードの紐付けで健康保険証、公金受け取り口座等の誤登録が問題となっています。政府は、マイナンバーカードの総点検を実施するとしていますが、町が係わる業務について質問しました。

担当課では、町が係わる業務では、国民健康保険や介護保険などがあるが、町の場合、住民基本台帳システムとそれぞれのシステムが連携しているため、紐付け作業も自動で連携されています。そのため、今回の総点検においては実際の確認業務は発生していないとのことでした。

6、清滝小屋再開に向けて物資運搬手段はドローン運搬を検討

物資運搬手段はドローン運搬を検討

何回か質問していますが、清滝小屋再開の条件整備について質問しました。

担当課では、現地調査、関係団体との打ち合わせ等精力的に行い、再開に向け準備しているとのこと。物資運搬についてはモノレールを検討してきましたが、資材高騰等で無理、ドローンによる運搬を検討とのこと。

3、町職員の労働条件改善について

しごと

安心して妊娠・出産ができるよう代替え職員の配置を

町職員の皆さんが安心して妊娠・出産ができるよう条件整備をもとめました。

担当課では、現状は毎年人事ヒアリングの際、妊娠、出産、育児休業の取得等の状況を把握し、各課の人数配置を考慮しています。

出浦議員は、妊娠、出産する職員が安心して妊娠・出産できるように代替え職員配置制度を作るよう求めました。あわせて出産時の夫の休暇、現行二日を増加するよう求めました。

担当課では、必要性は認めつつも今後の検討課題としておりました。



核兵器廃絶・平和な町づくりについて、「核兵器廃絶・平和都市宣言のまち」モニュメント設置を！被爆青ギリ説明板を

青ギリ説明板を

新庁舎建設に伴い、撤去されたままとなっている「核兵器廃絶・平和都市宣言のまち」モニュメントの設置、被爆青ギリ説明板設置について町長の考えを伺いました。

町長は、「私も大切な事であると感じております。」「来年度予算編成に向け、設置場所や費用について前向きに検討してまいりたいと考えております。」と答弁しました。

世界では、ウクライナ、イスラエル、ガザ地区などの悲惨な戦争が続いています。すべての地域に平和が訪れるよう祈ります。

町政報告

二子山裁判

8月28日、議会全員協議会で町は、小鹿野クライミング協会と小鹿野町が損害賠償請求事件で告訴されていることを報告。報告内容は、原告は東京の人。第1回公判は10月3日(実は第1回公判は、8月24日に開催されていた)のみ。

出浦議員が町に届いている訴状の閲覧を求めても拒否、毎日新聞が9月18日付け朝刊で詳しく報道していますが、町の裁判内容を新聞でしか知ることができないなんて変ですね。

二子山絶滅危惧希少植物保護

環境省・国立博物館が域外保全

3月議会で取り上げた二子山の希少植物、本来は、二子山で保全する必要がありますが、絶滅を避けるため環境省、国立科学博物館が域外保全をすることを決定しました。

飯田地内、バイオマス発電所設置計画、町長への説明会開催を求めよ

飯田地内、飯田橋上流右岸にバイオマス発電所計画があります。すでに地権者の了解、農業委員会も通っています。業者は約10億円の事業費を要するとのこと。担当課は、町民にも影響があるとのことなので業者に対して町民説明会を開くことを求めるよう町長に要望しました。